

1. はじめに

日本では3世代それぞれ別の地域で暮らす家族が増加してきました。電話やメールだと遠くの家族と連絡を取るのがだんだん疎遠になってしまい、家族の絆が弱まってしまいます。そこで私たちは遠くに離れていても各家庭に1台設置したロボットを通して家族の存在感を感じることができるシステム『uniHome』を提案します。

2. システムの概要

『uniHome』は、家族がそばにいるような存在感を感じるために、人に容姿が似ていて親しみやすいロボットを通して「地域と都会で離れて暮らす家族と送る意識がなくても繋がることできる」、「日常的に感じられる家族の存在感」を提供します。これにより、離れていても家族が側にいるような安心感を得ることができます。



図1 利用イメージ

3. コミュニケーションロボット、「unibo」

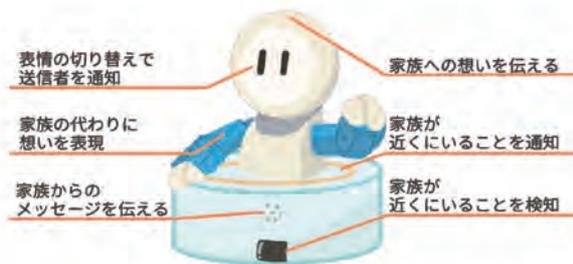


図2. unibo の機能

「unibo」は離れた家族の代わりにメッセージや想いを簡単な動作をすることで、伝えてくれたり、届けられたりしてくれます。例えば「unibo」に近づくと、離れた家族を想っている気持ちや存在感を意識せず送り合うことができます。他にも、孫がロボットの近く

にいることを、リアルタイムで祖父母の家にいるロボットの台のLEDを光らせて伝えます。

4. uniHome の3つの機能

1. ロボットの近くにいることで存在を伝える機能

離れて暮らす家族の家にいるuniboが自分の代わりとなってロボットの近くにいることを伝えてくれ、離れて暮らしていても家族の存在を日常的に感じることができます。

2. なでるだけで想っていることを伝える機能

離れて暮らす家族の家にいるロボットが自分の代わりとなって、家族を想っていることをダンスで伝えてくれ、家族に想われている温かさを感じることができます。

3. あいさつを伝える機能

離れて暮らす家族の家にいるロボットが自分の代わりとなって、あいさつごとに決まったポーズであいさつを伝えます。これにより家族との繋がりを感じることができます。

5. 実現方法

システム構成図を図3に示します。

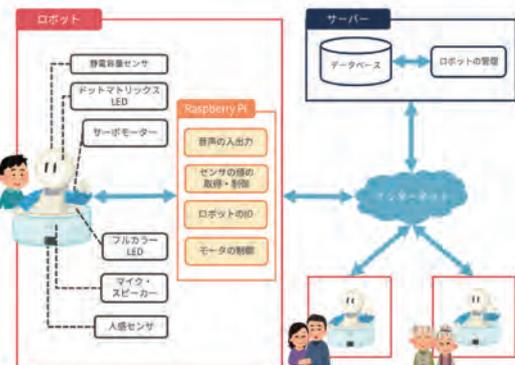


図3. システム構成図

6. おわりに

私たちは『uniHome』でより家族の絆を深め、地域と都会に住む家族をひとつに繋がせます。